京城日報
昭和十九年七月十八日（火曜日）　皇紀二千六百四年

海軍大臣を更迭
後任 野村直邦大將
きのふ親任式擧行

情報局發表（昭和十九年七月十七日）本十七日午後五時親任式を行はせられ左の通り發令せらる

任海軍大臣　野村直邦
依願免本官　海軍大臣　嶋田繁太郎

戰局へ不動の姿勢
野村海相、決意を語る

海軍切っての ドイツ通
野村海相略歴

「小磯の増産と競爭だ」
總督、青訓別科生に覺悟を說く

陸海六月の航空綜合戰果
一四六〇機以上屠る
我が犠牲三百六十九機

大本營發表（昭和十九年七月十七日十六時）帝國陸海軍部隊の六月中における敵航空部隊に對する邀撃および進攻作戰の綜合戰果次の如し

一、敵に與へたる損害
北九州　撃墜B29七機、撃破B29三機
南太平洋方面　撃墜百六十五機、撃破又は炎上百二十五機
中太平洋方面　撃墜八百九十七機
印緬方面　撃墜二十四機、撃破七機
北太平洋方面　撃破一機
支那方面　撃墜八十一機、撃破又は炎上百十機（内B29二機）
以上、撃破四十機
合計　千四百六十機以上（内B29十一機）

二、我が方の損害　自爆未歸還三百四十二機、地上に於ける損害二十七機
合計　三百六十九機

來襲三萬二千餘機

敵潜水艦轟沈の刹那　北太平洋
（海軍報道班員撮影）基地陸軍航空隊撮影

首相政務奏上

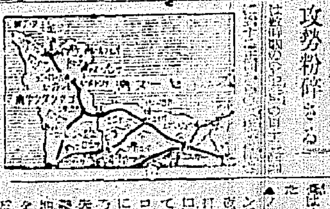
社說
種馬鈴薯を確保せよ

あゝ凛烈 元寇當時の祖先【下】

必勝の信念堅持
精鋭兵器を多量に第一線へ
高宮太平

血戰錄

北佛戰線
カーン西南激戰
英軍の攻勢粉碎さる



東部戰線

一ヶ師を徹底殲滅
耒陽、茶陵附近掃蕩戰

衡陽市街へ突入

南北兩軍の距離 二百五十粁

米動員兵力 千百卅五萬

荷役機械移駐に關係官來鮮

國民貯蓄組合施行規則改正

桂林、柳州で避難開始

胃腸に トイタ
勝ち抜く爲に胃腸丈夫に

頭痛 かぜねつに

水虫と皮膚病には

日本最初
生にんにく そのまゝの純粋粉末
大口卸元募集
東亞化學研究所

疲勞と疼痛
胸部疾患及び作業勞働による各種疼痛

ペンも筆も上達技法経路
習字十日間 絶對的上達法
精華寮

撃て 神州恐れぬこの驕慢
一千機擁す大艦隊
サイパンから本土狙ふ

皇后陛下 大宮御所行啓

増産が即ち戦果だ
動員學徒怒ろに激勵

板垣軍司令官 仁川造兵廠へ

國語の村を訪ねて
大野學務局長一行

孜々勵む皇民化
一日毎に増す國語の家

私事捨てゝ徴兵へ
半北に軍國佳話二つ

筏の漂流十二日
スコールを飲み魚を捕食して 荒鷲奇蹟の生還

○月○日

改造空母

分散行動

同民帖

古市府尹清凉里へ

府職員水泳鍊成會

糧穀配給機構を改組

糧穀商業者に補償金

警察下の常會中止

朴小兒科 朴熙彬

メガネ

金澤庄三郎氏講演會

日時 七月二十日（木）午後五時半
場所 京城府民館中講堂
演題 内鮮同祖同根に就て
講師 文學博士 金澤庄三郎氏
主催 國民總力聯盟・後援 京城日報社

海への書 【70】
門出（五）
李無影作 鄭玄雄畫

國防獻金

恤兵金

飛行機獻納基金

國民兒童五十人が獻金

放送

日本ニュース 第二一五號 支那大陸の両翼作戦進む

工員大募集 朝鮮煤炭株式會社 京城職業紹介所

内地行工員 三菱 廣島機械製作所 京城職業紹介所

高級社員募集 渡邊産業

西原産婦人科

公告 南北棉業株式會社

カルツ キュクリーム

電話變更謹告 新設 本局 戸田常次

日本精工株式會社

和信映畫劇場 東洋劇場 光武劇場 新富座 大陸劇場 京日文化 永寶劇場 喜樂舘 優美舘 桃花劇場 浪花舘 朝日座 中央劇場 城寶 明治座 第一劇場 若草劇場 南城劇場 京劇